



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

1. 下地の清掃

砂・塵埃などを除去してください。水勾配は1/100以上必要です。

2. 裁断とけがき

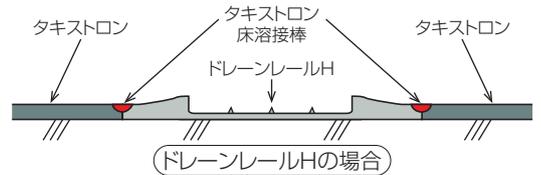
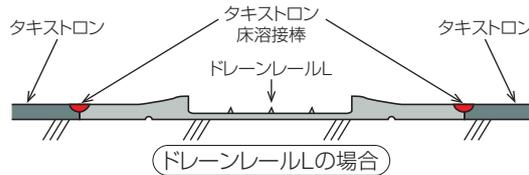
ドレーンレールを取り付ける位置に、ドレーンレールの幅寸法(ドレーンレールL:約70mm、ドレーンレールH:約50mm)で下地に鉛筆などで、けがいてください。次に、シートとドレーンレールを荒切りし、仮敷きしてください。

3. 接着剤の塗布と張り付け

下地に接着剤を塗布し、適切なオープンタイムを取った後、ドレーンレールとシートを張り付け、底部まで十分に圧着してください。

4. 継目処理

ドレーンレールとシートの継目はU字型に溝をカットし、タキストロン床溶接棒を用いて熱風溶接処理を行ってください。

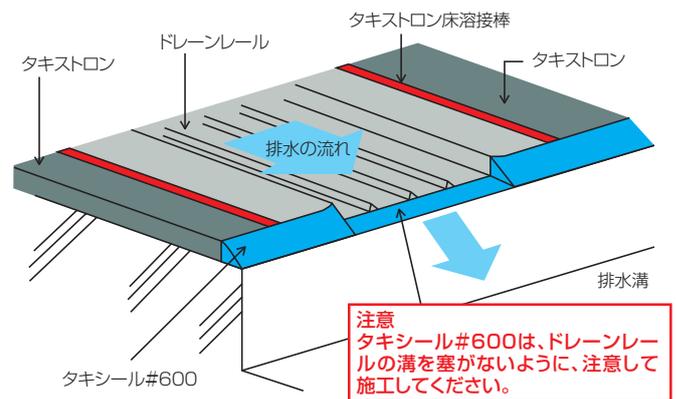


5. 端部処理

シートの端部をマスキングテープで養生し、タキシール#600で端部処理をした後、マスキングテープを取り除いてください。

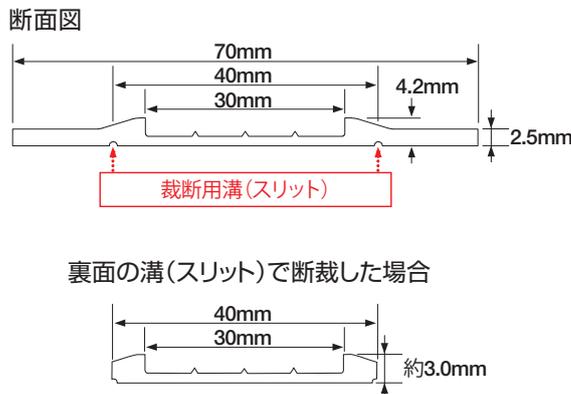
排水溝側にシールする際には、ドレーンレールの溝部分を塞がないように注意してください。

(シールにより水の流れを妨げる場合があります。)

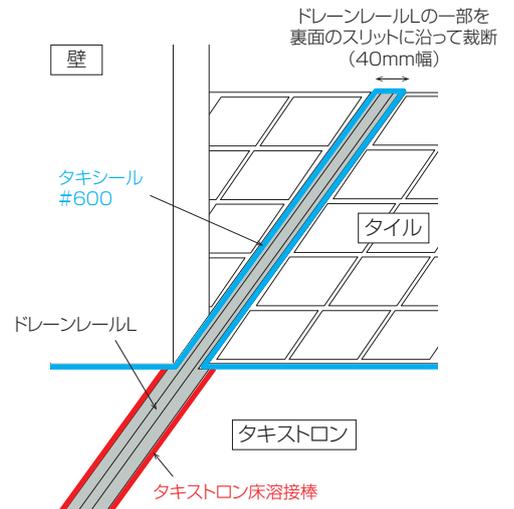


ドレーンレールLについて

※ドレーンレールLは、裏面の溝(スリット)に沿って裁断いただくことで、**40mm幅でもご使用いただけます。**



※磁器タイルなどシート以外にドレーンレールLを施工する場合は下図のように継目処理・端部処理を行ってください。



タキストロン プラスケアXGと溶接する際は裏面の溝(スリット)に沿って裁断いただくことで厚みを合わせることができます。
 プラスケア(WJ・CJ・MJ)には使用できません。(厚みが合わないため)

試験データ P.196
法規関連 P.218
工法・下地 P.229
施工手順 P.247
接着剤・副資材 P.314
副資材 品番一覧 P.328
メンテナンス 注意 P.333